

## 目次

### [ロシア地域学科]

#### 2年

#### 前・後期

実用ロシア語会話（スレイメノヴァ・アイーダ）	P1
実用ロシア語文法（イリイン・ロマン）	P2
ロシア語演習（イリイナ・タチヤナ）	P3
ロシア語購読（鳥飼やよい）	P4
通訳翻訳入門（スレイメノヴァ・アイーダ）	P5
英語（パドスーシヌィ・ワレリー）	P6
ロシア史（グラチェンコフ・アンドレイ）	P7～8
ロシア文学史（スレイメノヴァ・アイーダ）	P9
外国語としてのロシア語（デルカーチ・フョードル／伊什・妍々）	P10
体育（選択科目）（高橋厚一）	P11

#### 前期

ロシア文化史（デルカーチ・フョードル）	P12
法学入門（選択科目）（荒木知恵）	P13

#### 後期

ロシア経済（グラチェンコフ・アンドレイ）	P14
論文作成（倉田 有佳）	P15

教科名	実用ロシア語会話（前・後期）	
学年・学科名	第2学年ロシア地域学科	【担当教員】スレイメノヴァ・アイダ
時間数・期間	前期16週4時間・64時間 後期20週4時間・80時間 総144時間	
教科書など	ロシア語の新しい習い方 第1部	
補助教材・参考書など	プリント類、ビデオ、プレゼンテーション	
学習到達目標：	教科書内容に添った語彙習得により、テキストを理解できるようにする。また、テキストの内容に添った質問に答えることや会話を覚えることにより自己ロシア語会話力をつける。担当教師の質問に答え、また自らもロシア語でテキストを作成することができる。	
学習上の留意点：	1. 会話には集中して臨むこと。 2. 新しい語彙・文法を使いつつ、質問事項には自分の意見を盛り込んで答えること。	
評価 評価方法：	試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。	
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1～10	ガイダンス、 第8課 テキスト 《彼らの生活について一言》 《クセニヤと彼女の友達》。 テキストに関する会話を設ける。	
11～20	第9課 テキスト 《偉大なる海、聖なるバイカル湖》 《賢いオオム》 《新アルバートV》。《ふとん娘》 会話。	
21～31	第10課 テキスト 《兄弟の涙》 《アルバート通り》 《新アルバート大通り》 《プーシキン》 指小形。会話。	
32	まとめ、テスト	
後期	内 容	
1～19	第11課 テキスト 《インタビューを受けるスポーツマンの妻》 《りんごの実がならない木》 《うそは続かない》	
20～40	第12課 テキスト 《カフェで》 《私の一週間》 《三人の教え子》 《北ロシア地方》 造格。会話。	

教科名	実用ロシア語文法（前・後期）	
学年・学科名	第2学年 ロシア語科	【担当教員】 イリイン・ロマン
時間数・期間	前期16週 4時間・64時間 後期16週 4時間・64時間 総128時間	
教科書など	М.П. Аксенова «Русский язык по-новому» ロシア語の新しい習い方 第1部（ズラトウスト社） С.А. Хавронина «Русский язык в упражнениях» 練習問題で学ぶロシア語（ロシア語出版社）	
補助教材・参考書など	プリント類（随時）	
学習到達目標：	1 学年時に覚えた文法項目を生かしながら新しい項目を習って、ロシア語の読み書き、会話力、理解を高めロシア語の学習を続ける。	
学習上の留意点：学習者は文法がロシア言語体系の大事な構成部分であることを理解した上 それは音声・語・形態論・措辞論への入り口であることを把握せねばならぬ。文法の知識はロシア語文章を読むことと繋がり文章の内容を日本語に訳す練習にもなる。		
評価方法：試験、小テストの結果と出席率、授業中態度、提出物などすべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1～11	ガイダンス、 8課 所有代名詞と指示代名詞の対格。時刻の表現。数詞。与格形。	
12～21	9課 数量の表現。名詞、形容詞、所有代名詞の生格形。関係代名詞。	
22～31	10課 代名詞 <b>свой</b> の用法。直接話法。Потому что 構文。年月日の表現。	
32	まとめ、テスト	
後期		
回	内 容	
1～15	11課 合成未来。所有表現。直接目的語。否定代名詞。条件法。再帰代名詞 <b>себя</b> の用法。 動詞の体。	
16～32	12課 運動の動詞。造格。義務を表す表現。形動詞。副動詞。	

教科名	ロシア語演習（前・後期）	
学年・学科名	第2学年 ロシア地域学科	【担当教員】イリイナ・タチヤナ
時間数・期間	前期16週2時間・32時間 後期20週2時間・40時間 総72時間	
教科書など	ロシア語の新しい習い方 第1部（ズラトウスト）、ビデオ教材 «Чудо-мальш» для начинающих.	
補助教材・参考書など	Ильина Татьяна. Словарь к аудио-курсу «Чудо-мальш» для начинающих. Хакодате, 2017г.	
学習到達目標：	教科書の内容に添った語彙の習得により、テキストを聴力のみで理解できるようにする。また、テキストの内容に添った質問に答えることにより、自己のロシア語発話力をつける。	
学習上の留意点：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習には集中して臨むこと。新しい語彙・文法は確実に覚えてから演習に入ること。</li> <li>・新しい語彙・文法を使いつつ、質問事項には自分の意見を盛り込んで答えること。</li> </ul>	
評価方法：	期末試験、筆記テスト	
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	ガイダンス	
2～4	ビデオ：一緒に遊みましょう	
5	復習、小テスト	
6～8	ビデオ：紹介	
9	復習、小テスト	
10～12	ビデオ：公園で	
13	復習、小テスト	
14	まとめ	
15～16	学期末試験への準備	
後期		
回	内 容	
1	前期の復習	
2～3	教科書「ロシア語の新しい習い方」復習	
4～6	ビデオ：牧場で	
7	復習、小テスト	
8～9	教科書「ロシア語の新しい習い方」復習	
10～12	ビデオ：僕の誕生日	
13	復習、小テスト	
14～15	教科書「ロシア語の新しい習い方」復習	
16～17	総まとめ	
18～20	学年末試験への準備	

教科名	ロシア語講読（前・後期）	
学年・学科名	第2学年 ロシア地域学科	【担当教員】鳥飼やよい
時間数・期間	前期16週2時間・32時間 後期20週2時間・40時間 総72時間	
教科書など	Практический русский язык ХРЕСТОМАТИЯ 「実用ロシア語講読書」S・コーネフ	
補助教材・参考書など	なし	
学習到達目標:	1年の「ロシア語講読」に引き続き、文法の知識を基にテキストを正確に読み取る能力を養う。語彙力を高め、広くロシア語を読み理解する能力をつけるための基礎作りを目指す。	

学習上の留意点:

1. 各自が前もってテキストの試訳を行い、その訳文と疑問点を授業で発表する。従って予習は大前提である。
2. 各テキストについて完全な翻訳文を完成させ提出すること。

評価方法: 3話ごとのテストと学期末試験の結果、出席、宿題の総合評価とする。

#### 授 業 項 目

前期

回	内 容
1	イントロダクション
2~3	第1話《ОЧЁМДУМАЕТМАРАБУ?》「マラブーは何を思うか？」
4~5	第2話《КАКЯВСТРЕЧАЛНОВЫЙГОД》「新年の出来事」
6~7	第3話《ЛЮБИМЫЙПРАЗДНИК》「一番好きな祝日」
8	テスト
9~10	第4話《СОЛИСТКАОПЕРЫ》「オペラのソリスト」
11~12	第5話《МИМОЗЫ》「ミモザ」
13~15	第6話《ВЕРНОЕСЕРДЦЕ》「誠実な心」
16	総復習

後期

回	内 容
1~2	第7話《ЭТОСЛУЧИЛОСЬВВОЗДУХЕ》「空の出来事」
3~5	第8話《СЧАСТЛИВЫЙГУСЬ》「幸運の鷺鳥」
6~8	第9話《ПРИВЕТОТДИМКИ》「ディムカからのことづけ」
9	テスト
10~12	第10話《БОРОДАТЫЙВНУК》「ひげ面の孫」
13~14	第11話《СЫНЛЁТЧИКА》「パイロットの子」
15~16	第12話《САМЫЙСЧАСТЛИВЫЙДЕНЬ》「一番幸せな日」
17~19	第13話《НОВОСЁЛЫ》「お引っ越し」
20	総復習

教科名	通訳翻訳の演習（前・後期）	
学年・学科名	第2学年 ロシア地域学科	【担当教員】スレイメノヴァ・アイダ
時間数・期間	前期16週 4時間・64時間 後期20週 4時間・80時間 総144時間	
教科書など	V. Незамуддинов 著、「通訳論」、ロシア極東国立総合大学、1998年	
補助教材・参考書など	担当者作成の配布資料	
学習到達目標：	ロシア語のみならずロシア文化、ロシア史、ロシア政治体制なども理解できるようになる。	
<p>学習上の留意点：授業は教科書に沿って進めるので教科書をかならずもってこること。          授業で積極的な態度を表わすこと。          習ったことを自宅で少しでも復習すること。</p>		
<p>評価方法：評価は2回の試験の成績の平均とする。各期の合格点は60点以上である。          各期の評価は小テスト20%と試験80%の割合とする。</p>		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	ガイダンス	
2～9	第1課 三頭の熊 第3課 狐と鶴	まとめと作文
10～12	第2課 日本における女性	まとめと作文
13～20	第4課 ロシアにおける教育制度 第14課 極東大学	まとめと作文
21～30	第5課 ロシアの作家 第13課 プーシキン博物館	まとめと作文
31	まとめ	
32	テスト	
後期		
回	内 容	
1～7	第6課 オリンピック大会	まとめと作文
8～24	第7課 ロシアの白樺 第8課 ロシアの人形 第9課 ロシアの美術館	まとめと作文
25～29	第11課 ロシアのお土産 第12課 ロシアのお盆	まとめと作文
30～34	第15課 極東の町	まとめと作文
35～39	第16課 日本経済	まとめと作文
40	後期試験	

教科名	英語（前・後期）	
学年・学科名	第2学年 ロシア地域学科	【担当教員】パドスーシヌィ・ワレリー
時間数・期間	前期16週4時間・64時間 後期20週4時間・80時間 総144時間	
教科書など	interactions2 Listening/speaking Judith Tanka/Lida R.Baker McGraw-Hill,New York,2014	
補助教材 参考書など	Interactions2 Listening/speaking Listening Tape	
学習到達目標：	大学生にとって身近な様々な社会問題を取り扱ったレクチャーを聞く。大意の掴み方、細部の聞き取り、ノートテイキングの技術、パブリックスピーチの方法、パブリックスピーチの組み立て等を学び、各課の終わりには実際のテーマについての口頭発表を行う。	
学習上の留意点：		
評価方法：5（90～100%）、4（80～90）、3（70～80） 不合格（～69%） 各課ごとに単語テスト、内容把握の筆記試験、口頭発表の試験を行う。 宿題10%、出席10%、各課のテスト（筆記と口頭）50%、最終テスト30%		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1～9	ガイダンス Lesson1 Education and student life	
10～18	Lesson2 City life	
19～27	Lesson3 Business and Money	
28～30	Lesson4①～③ Jobs and professions①～③	
32	まとめ、テスト	
後期		
回	内 容	
1～7	Lesson4④～⑩ Jobs and professions④～⑩	
8～17	Lesson5 Lifestyle Around the World	
18～27	Lesson6 Global connection	
28～39	Lesson7 Language and communication	
40	テスト	

教科名	ロシア史 (前・後期)	
学年・学科名	2年 ロシア地域学科	【担当教員】 グラチェンコフ アンドレイ
時間数・期間	前期16週 2時間・32時間	後期20週・40時間 総72時間
教科書など	なし	
補助教材・参考書など	配布プリントあり。その他にパワーポイントを使用。	
学習到達目標：	講義の目標は、ロシア語を学ぶため、またロシアに関するさまざまな研究を進めるために欠くことのできないロシア史の基礎知識を身につけることである。古代スラブ世界にはじまり、8世紀、10世紀をへて、12世紀末にいたるまでのロシアの歴史の流れを概観する。具体的には、キエフ国家を中心に、古代ロシアの五百年にわたる政治・経済・文化の歴史を通覧し、キエフ・ルーシという国への理解を深め、あわせて、ルーシと周辺諸国との関係の理解への道を探ることを目的とする。	
<p>学習上の留意点：授業は特定の教科書を使用せずに講義方式で進めます。理解を助けるために板書を多く用いますが、更にパワーポイント等の視覚教材で説明を補います。また、各項目が終わるごとに重要事項と語彙をまとめたプリントを配布します。質問は授業中でも授業後でも受け付けます。授業への積極的な参加を期待します。</p>		
<p>評価方法：期末に行う筆記試験の結果と出席状況を総合して評価します。筆記試験には自作ノートと配布プリントの持ち込みを可とします。日頃の講義を真面目に受けていけば不合格を心配する必要はありません。</p>		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	イントロダクション	
2	キエフ国家成立1	東スラブ諸族の世界
3	キエフ国家成立2	ルーシ族の問題とノルマン説
4	キエフ国家成立3	イーゴリ公と巡回徴貢制
5	キエフ国家成立4	オリガ妃の改革
6	キエフ国家成立5	スヴァトスラフ公とハザル国
7	キエフ国家成立6	聖ウラジーミルの統治とギリシャ政教の国教化
8	キエフ国家解体1	キエフ大公と諸公間関係、大公位を巡る戦い
9	キエフ国家解体2	キエフとノヴォゴロド、北方ルーシの特徴
10	キエフ国家解体3	ヤロスラフ賢公とルーシ法典
11	キエフ国家解体4	ウラジーミル・モノマフの政治
12	キエフ国家解体5	ウラジーミル・スズダリ公国の台頭とキエフ公国の意義の低下
13	キエフ国家解体6	キエフ・ルーシの封建制の独特性
14	西方と東方の間に1	キリスト教の分裂、十字軍の始まり
15	西方と東方の間に2	ビザンチン帝国の滅亡と北方十字軍の始まり
16	西方と東方の間に3	チンギス・ハンの登場とモンゴル勢力



授 業 項 目		
後期		
回	内 容	
1	封建分離制 1	モンゴル軍の襲来
2	封建分離制 2	「タタールのくびき」と北西・北東・南西ロシアの諸公国
3	封建分離制 3	モスクワの台頭、モスクワとトウェリ間の戦い
4	封建分離制 4	イワン・カリタのモスクワ公国の領土拡大
5	封建分離制 5	モスクワ大公国の成立と発展
6	統一国家形成 1	「タタールのくびき」廃絶と専制の成立
7	統一国家形成 2	イワン 4 世の親政と改革
8	統一国家形成 3	カザン汗国の征服とリヴォニア戦争
9	統一国家形成 4	オプリチナ制とその目的
10	モスクワ国家の危機 1	ボリス・ゴドゥノフの政治と農奴制成立
11	モスクワ国家の危機 2	偽ドミトリイ 1 世・2 世の政治と外国の干渉
12	モスクワ国家の危機 3	ロマノフ朝成立と全国会議
13	17 世紀の経済・社会問題 1	土地問題と農奴制
14	17 世紀の経済・社会問題 2	貨幣制と税制：担税民と非担税民
15	17 世紀の経済・社会問題 3	対外貿易とシベリア開発
16	17 世紀の経済・社会問題 4	役所と地方行政
17	17 世紀のモスクワ国家と周辺諸国 1	クリミア汗国とトルコ帝国
18	17 世紀のモスクワ国家と周辺諸国 2	ポーランド大王国とスウェーデン王国
19	17 世紀のモスクワ国家と周辺諸国 3	ウクライナ・コザック国家誕生とロシア・ポーランド関係
20	まとめ	

教科名	ロシア文学史 (前・後期)	
学年・学科名	第2学年 ロシア地域学科	【担当教員】 スレイメノヴァ・アイダ
時間数・期間	前期16週 2時間32時間	後期20週 2時間・40時間 総72時間
教科書など	『はじめて学ぶロシア文学史』藤沼貴、水野忠夫、井桁貞義編。ミネルヴァ書房。2003年	
補助教材・参考書など	各著者の原作からの抜粋(随時プリント類、プレゼンテーション)	
<p>学習到達目標：ロシア文学史への入門としては、全世界文学史におけるロシア文学の位置について話から現代世界の中にあるロシア文学の作品について行ってやる予定です。ロシア人の考え方・価値観には日本人のことも共通点が多い点にもお話しさせていただきたいです。『原初年代記』、『イーゴリ軍記』、『エブゲーニイ・オネーギン』、『現代の英雄』、『外套』、『死せる魂』、『父と子』という8～19世紀の偉大な作品には昔のロシア人の思い・悩みが隠れていることについて学生を考えさせたいと思います。その特徴や特殊性を把握して、ロシア文豪の傑作の原文に触れることを目指す。スラブ語の代表者である精確かつ繊細なロシア語の魅力そのものに基づいている。文芸的な学習だけでなく、授業中ロシア文学の背景知識と呼ばれるロシア人生活全般 — 食べ物から礼儀、習慣、言葉からもの見方などはビデオを通じて、紹介するつもりである。</p> <p>学習上の留意点：ロシア文学の社会諸問題への関心、国民性、知識人の使命、作家の受難、ロシア人の文学への信頼などに注意の重点を置く。</p> <p>評価方法：試験、小テストの結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。</p>		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1～4	ガイドンス、ロシア文学のはじまり：ロシア文学の風土：文字文学以前、ロシアの自然・歴史・宗教。ロシア文学の特徴；ロシアの神話、昔話、ロシアのフォークロー（ブイーリナ）、昔話の主人公；古代文学：キエフ・ロシアの時代、キエフ国家の成立、キリスト教の導入と文化の発展；『原初年代記』	
5～7	口伝年代記、「イーゴリ軍記」；モンゴルのくびき、キエフ・ロシア崩壊；14～17世紀の文学の流れ、『三つの海への旅行記』（アフナーシー・ニキチン）	
8～10	18世紀の文学；ロシア詩法の確立、ロモノソフ；ロシアの劇場の成立；古典主義の衰退と文体の改革	
11～12	ロマン主義潮流、文学的団体、カラムジン（『哀れなりザ』）ラジーッシュェフ（『ペテルブルグからモスクワへの旅行』）、ジュコーヴスキー、クリロフ（寓話）、グリボエドフ（『知恵からの悩み』）	
13～16	国民詩人プーシキンとその著作。「ロシアの生活の百科事典」としての『エブゲーニイ・オネーギン』、主な主人公、文体の特徴。写実主義の確立、典型的な形象、典型的な形象。『ベールキンの物語』（「小さな人間」、「運命」）。『スペードの女王』、『大尉の娘』。『小悲劇』。	
後期		
回	内 容	
1	ロシアの詩の「金時代」（プーシキン、レールモントフ、チュッチェフ、フェート）。	
2～5	レールモントフの創造活動、『現代の英雄』という短編小説集	
6～11	ゴーゴリ、その作品。ウクライナ時代の作品（『デイカーニカ近郷夜話』、『隊長ブーリバ』）；ペテルブルグ物語（『鼻』、『外套』）、『死せる魂』（長編小説の構造、主人公；風景）	
12～13	ゴンチャロフの創造活動：「平凡物語」、「オブローモフ」、「断崖」、紀行文「パラダ軍艦」	
14～18	ツルゲーネフの創造活動：『獵人日記』、『貴族の巣』、『その前夜』、『父と子』。長編小説の構造、主人公、「ツルゲーネフの乙女」というタイプ。	
18～20	批評家バリンスキー、チェルヌイシェフスキー『何をなすべきか』、平民出の詩人、ネクラソフ。ロシアの芸術におけるオストロフスキーの役割と国民劇の確立	

教科名	ゼミナール 外国語としてのロシア語 (前期)	
学年・学科名	第2学年 ロシア地域学科	【担当教員】デルカーチ・フォードル/イリイナ・タチヤナ
時間数・期間	前期16週4時間・64時間	
教科書など	F・デルカーチ「一歩いっぽ文法・ゆっくり学ぶロシア語(3)」(2016年)	
補助教材・参考書など	必要に応じて資料を配布	
学習到達目標:	初級文法の規則とロシア語のパターンを習得し、語彙を増やし、ロシア語学習の基礎を作る。	
<p>学習上の留意点: 格変化、動詞の変化の理解を深める。  基礎の習得のために復習をする。  補助教材を用い文法強化を図る。  一般的な文法概念と露語特有の文法用語を学ぶ。  露和・和露辞書を利用する。</p>		
評価方法: テストと期末試験の他に提出課題の結果から判定する。		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1~4	ガイダンス、 【動詞の接頭辞】接頭辞の例、前置詞と接頭辞の関係、接頭辞と方向。不完了体と完了体。文書。	
5~7	【役立つ色々】文書。「教える・習う・学ぶ」。「手が届く、手に入れる」。複文の結び方、作文、テスト	
8~10	【与格】与格の応用(向き、相対)。文書。テスト	
11~13	【造格】造格の応用(道具、方法、相対的な位置)。文書。テスト。	
14~16	【あれこれ】非典型的な語尾系とその変化法。時間に関する表現。形動詞。従属複文。ロシアの諺。まとめ。最終テスト。	

教科名	体育（前・後期）		
学年・学科名	第1学年 ロシア語科（選択科目） ロシア地域学科	【担当教員】高橋 厚一	
時間数・期間	前期16週 2時間・32時間 後期20週 2時間・40時間 総72時間		
教科書など	使用しない		
補助教材・参考書など	縄跳び使用各自用意		
学習到達目標：運動の計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を伸長する。			
学習上の留意点：特になし			
評価方法：出席（50%）授業態度（40%）試験（10%）			
授業項目			
前期			
回	内 容	回	内 容
1	オリエンテーション、体づくりの運動①	9	バスケットボール（ゴール型）①
2	体づくりの運動②	10	バスケットボール（ゴール型）②
3	陸上運動（持久走）①	11	バスケットボール（ゴール型）③
4	陸上運動（持久走）②	12	バスケットボール（ゴール型）④
5	バレーボール（ネット型）①	13	バトミントン・テニス（ネット型）①
6	バレーボール（ネット型）②	14	バトミントン・テニス（ネット型）②
7	バレーボール（ネット型）③	15	バトミントン・テニス（ネット型）③
8	バレーボール（ネット型）④	16	実技試験
後期			
回	内 容	回	内 容
1	オリエンテーション、体づくりの運動③	11	ダンス（表現）②
2	体づくりの運動④	12	ダンス（表現）③
3	陸上運動（持久走）③	13	バレーボール（ネット型）⑤
4	陸上運動（持久走）④	14	バレーボール（ネット型）⑥
5	バスケットボール（ゴール型）⑤	15	バレーボール（ネット型）⑦
6	バスケットボール（ゴール型）⑥	16	体づくりの運動⑤（アイススケート）
7	バスケットボール（ゴール型）⑦	17	体づくりの運動⑥（アイススケート）
8	バトミントン・テニス（ネット型）③	18	体づくりの運動⑦（アイススケート）
9	バトミントン・テニス（ネット型）④	19	体づくりの運動⑧（アイススケート）
10	ダンス（表現）①	20	まとめ・実技試験

教科名	ロシア文化史（前期）	
学年・学科名	第2学年 ロシア地域学科	【担当教員】 デルカーチ・フョードル
時間数・期間	前期16週2時間・32時間 総32時間	
教科書など	教科書：F・デルカーチ「中世ロシア文化史」、函館、2009	
補助教材 参考書など	随時配分プリント、スライド、ビデオ教材	
学習到達目標：	ロシア文化（特にロシアの伝統、宗教、思想と芸術）に関する総合理解をも学生に与える他、文化学の基本思想および用語の知識を与える。現代ロシアの国民性、言語、経済状況などの文化的な背景を理解できる。	
<p>学習上の留意点：ロシア文化の主要な特徴、その発展の時代区分、ロシア文化史における主要出来事と人物を覚える。ロシア芸術の代表作、その内容と創造背景の知識を持つ。</p> <p>「文化」と「文明」の違い、文化形態、文化の機能、文化の主体と客体、文化発生、文化的言語、民族文化と国民文化の違い、東洋文化と西洋文化の違い、文化進展の原理などを理解できる。</p>		
評価方法：中間テスト、期末試験、学年末試験		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1～2	ガイダンス、 【入門】東洋の「文化」と西洋の「Cultus」。文化の定義とその主要タイプ、集団労働と文化発生。文化の機能と形態、主体と客体、文化と文明の定義。	
3	【時間と空間における文化】文化的言語の主要単位である「記号体系」。記号の定義と記号体系の主要類（自然記号、コンベンショナル記号、口頭記号、文字記号）	
4～5	【文化の発生と進展原理】文化進展の不規則性。原始文化の部族分離と古代・中世文化の社会内分離。農民文化、文化と信仰（宗教）、都市化と中世の終わり。近代における文化の分離。文化発展の転換期。文化普及の原理。	
6	【芸術】芸術の定義と分類。芸術発生の四論（生物論、ゲーム論、信仰論、労働論）。芸術進展の総合傾向。	
7	【文化史の科目】民族文化の進歩要因。「地理的決定論」の欠点。各時代における人間と環境の関係。各時代における文化進展傾向（発生→学習→保守→革新）。文化の後継と転換期。	
8	【ロシア文化史の概要】ロシア文化の6時代。世界におけるロシア文化の位置づけ。	
9～11	【スラブ文化】スラブ文化の起源。スラブに関する最小情報源。インド・ヨーロッパ語族におけるスラブの位置づけ。ロシア文化発生に関する論議（ノルマン論、スラブ論、南北論）。スラブ民族の現代区分、東スラブの部族。ロシア文化の二首都（キエフとノヴゴロド）。古代スラブの芸術。スラブの隣民族。	
12	【スラブとロシアの神話】多文化から生まれたスラブ神話。神話の進化。スラブ神話に関する古代ロシアとヨーロッパの記録。二重信仰、ロシア民話やおとぎ話に見られる神話の痕跡。	
13～14	【スラブと霊界】神話の主要類（宇宙発生、宇宙構造・英雄）。スラブによる「心、魂」の考え方。鳥と関連する伝統と迷信。宇宙観と生死観、死と社会。葬儀と供養、祖先崇拜。霊界との関わり。「世界大樹」の神話。ロシア民族衣装と民家に見られる宇宙のシンボリズム。	
15～16	【キリスト教】古代「新興宗教」の発生（仏教・キリスト教・イスラム教の登場）、その共通点と違い。キリスト教の内容、土着信仰の世界観と宗教。宗教の老化、文化と宗教。「バイブル界」と「ヴェエダ界」。ロシアへのキリスト教伝来とその歴史的な意義。キリスト教伝来とロシア社会。	

教科名	法学入門（前期）	
学年・学科名	第2学年 ロシア語科（選択科目） ロシア地域学科	【担当教員】 荒木 知恵
時間数・期間	前期8週 2時間・16時間 総16時間	
教科書など	なし	
補助教材・参考書など	なし	
学習到達目標：	論理的思考が向上し、様々な利益の考慮ができるようになる。 日常的に生じる法律問題について基礎的知識を身につける。	
学習上の留意点：	常に対立利益の存在に留意する。	
評価方法：	出席（50%） 授業態度（20%） 試験（30%）	
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	オリエンテーション	
2	民事裁判における事実認定と証拠①	
3	民事裁判における事実認定と証拠②	
4	消費者トラブルと法	
5	労働法—働く人の法知識	
6	刑事模擬裁判①	
7	刑事模擬裁判②	
8	筆記試験	

教科名	ロシア経済(期)	
学年・学科名	第2学年 ロシア地域学科	【担当教員】 グラチェンコフ・アンドレイ
時間数・期間	後期20週 2時間・40時間	総40時間
教科書など	なし	
補助教材・参考書など	配布プリントあり。その他にパワーポイントを使用。	
学習到達目標:	この授業の目的は、驚異的な経済発展を続けるロシア経済に焦点をあつて経済発展メカニズムとその独特性を分析するとともにロシア経済が抱える問題点について分析しロシア経済の原動力の理解を高めることを目的とする。	
<p>学習上の留意点：授業は特定の教科書を使用せずに講義方式で進めます。理解を助けるために板書を多く用いますが、更にパワーポイント等の視覚教材で説明を補います。また、各項目が終わるごとに重要事項と語彙をまとめたプリントを配布します。質問は授業中でも授業後でも受け付けます。授業への積極的な参加を期待します。</p> <p>評価方法：期末に行う筆記試験の結果と出席状況を総合して評価します。筆記試験には自作ノートと配布プリントの持ち込みを可とします。日頃の講義を真面目に受けていけば不合格を心配する必要はありません。</p>		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
1	ロシア型資本主義1：なぜ経済改革は必要であったか	
2	ロシア型資本主義2：食料品不足の秘密	
3	ロシア型資本主義3：最大の貿易国・最少産業国	
4	ロシア型資本主義4：ロシアのGDPから何を理解できるか	
5	ロシア型資本主義5：投機家のために自由、実業家のために制限	
6	ロシア型資本主義6：ロシアの財閥とは何か	
7	経済成長と投資1：お金は経済成長にどのように影響するか	
8	経済成長と投資2：ロシア中央銀行が行っている金融政策の特徴	
9	経済成長と投資3：外国投資が本当に必要であるか	
10	経済成長と投資4：ロシアの市場銀行と銀行の業務	
11	経済成長と投資5：ロシアの銀行と企業の債務負担	
12	ロシア経済の市場1：マネー市場と資本の市場	
13	ロシア経済の市場2：為替市場とルブルの為替相場	
14	ロシア経済の市場3：証券市場・1（国債市場）	
15	ロシア経済の市場4：証券市場・2（株式市場）	
16	経済発展と景気循環1：景気循環と景気の波局面	
17	経済発展と景気循環2：1998年の金融危機の特徴	
18	経済発展と景気循環3：1999-2008年の景気の拡大	
19	経済発展と景気循環4：2008-09年の経済危機	
20	ロシア経済の構造：ロシア資本主義の特徴と経済の不均衡	

教科名	論文作成（後期）	
学年・学科名	第2学年 ロシア地域学科	【担当教員】倉田 有佳
時間数・期間	後期20週2時間・40時間 総40時間	
教科書など	使用しない。	
補助教材・参考書など	ガイドブック、参考図書や論文など、論文指導の中で適宜紹介する。	
学習到達目標：	論文作成の方法を学び、その過程で、資料収集方法、課題解決能力やプレゼンテーション能力を身に付ける。	
学習上の留意点：論文作成の基本から完成の方法を学ぶため、授業に必ず出席すること。		
評価方法：論文評価（60%） 授業参加度（20%） 口頭試問（20%）		
授 業 項 目		
前期		
回	内 容	
4月	ガイダンス：学年レポートのテーマ発表、テーマの検討	
5月	ガイダンス：学年レポートのテーマ決定、事務局にテーマ提出	
1	論文の書き方①	
2	論文の書き方②	
3	論文の書き方③	
4	資料の収集	
5	資料の収集、文献目録作成	
6	文献目録完成	
7	学年レポート作成（章立て）	
8	学年レポート作成（序論検討）	
9	学年レポート作成（序論完成）	
10	学年レポート作成（本論検討）	
11	学年レポート作成（本論執筆）	
12	学年レポート作成（本論完成）	
13	学年レポート作成（結論検討）	
14	学年レポート作成（結論完成）	
15	学年レポート作成（注・参考文献）	
16	学年レポートの体裁を整える（表紙・ページ打ち・脚注・参考文献一覧の作成）	
17	学年レポート完成	
18	学年レポート最終チェック、印刷	
19	学年レポート完成、授業終了後事務局に提出	